

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月16日

事業所名 Hownice!

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			パーティションを利用	
	2	職員の配置数は適切である		4		足りない時がある	募集や調整を行なう
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		1	3	手すり使用	二階にある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2		2	ミーティング	会議など全員が集まれるようにする
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		3	1	ご両親との意見交換	アンケート用紙作成
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			研修を定期的におこなっている	外部研修有
適切な 支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		独自の計画表あり	ツールの使用
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			独自の計画表あり	ツールの使用
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1	1	ミーティング	意見交換が足りない時もある
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	2		毎回入る人を変える	固定化をさげ、別の支援をこころがける
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	2	1	時間がきまっている	長期休暇や祝日の時間変更には対応している

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

採 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			個別が基本だが実験ウィークを設ける		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2		ミーティング	朝の時点で最終職員配置を相談する	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2		報告や相談を適宜行なう	支援終了後に時間配分がむずかしいときがある	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			連絡帳など詳しく記載	文章がわかりにくならないように心掛け	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1		面談	定期的に面談を行なう	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	2		マニュアル化	色々な観点から支援を行なう	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		3	1	議事録	担当者会議の機会がすくないので、各機関との連携を図る	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	3		送迎がないがアプリなどを使用し情報を集める	コロナのこともあり、学校など情報共有をこまめに行う	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	1	主治医の連絡先記載	医療的ケアの方が少ないがアレルギーなど一覧にする	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1	1	情報共有を行なっている	個人情報に配慮しながら必要な情報の共有	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4			情報共有を行なっている	個人情報に配慮しながら必要な情報の共有
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4			専門機関との連携	研修などは行なえていないため、参加する
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	3			コロナのこともあり、外部との交流がむずかしい
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	2		協議会との情報共有メール	現在積極的には参加できていない、情報共有は行なっている	

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	2		定期的面談	連絡帳やお迎えの際にお話しをしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	1	定期的面談	連絡帳やお迎えの際にお話しをしている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	2		契約時や変更の際、説明	変更への対応が難しい時があるため、適宜お声がけをさせてもらっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1	2	1	定期的面談	必要な助言への知識不足もあるため研修などおこなう
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	2		保護者会を開催する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		1	苦情窓口設置	伝えにくいことや言いにくいことを、伝えてもらうような関係性を築く
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		3	1		会報や行事を今後行なっていく
	35	個人情報に十分注意している	4			細心の注意をはらう	個人情報への理解、扱いなど知識が至らないことがないようにする
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			コミュニケーションや話しやすい環境作り	意思の疎通での、変化など常に気をつけている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	2		地域に参加できるように計画する
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	1	防災マニュアル作成	色々な災害への実施が難しい時があるので、想定を沢山し状況に対応できるように訓練を行なう。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		避難訓練実施	色々な災害への実施が難しい時があるので、想定を沢山し状況に対応できるように訓練を行なう。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2		2	研修を行なっている	虐待への理解やとっさの対応での虐待にあたることへの研修を行なっている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1	1	契約書にて	サービス計画への記載を行なう
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	1	イベントなどでの提供	把握しきれてない部分があるかもしれないので、安全に留意し情報共有を行なっていく

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	1	ヒヤリハット報告や情報共有	会議などで情報共有を行なう
----	---------------------------	---	---	---	---------------	---------------

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。